

各分野における目標に対する現状一覧

分野	目標	目標値 (2030年度)	基準年度又は目標設定時の状況		最新の状況	
			数値	年度	数値	年度
脱炭素・省エネルギー	■府域における温室効果ガス排出量	40%削減 (3,458万トン)	5,798万トン	2013	23.8%削減 (4,284万トン)	2019
	■府庁の事務及び事業に伴う温室効果ガス排出量	45%削減 (29.4万トン)	53.4万トン	2013	24.7%削減 (40.2万トン)	2020
	■自立・分散型エネルギー導入量 (太陽光発電、燃料電池、廃棄物発電等導入量)	250万kW以上	185.3万kW	2019	196.6万kW	2021
	■再エネ利用率 (電力需要量に占める再生可能エネルギー利用率)	35%以上	20.8%	2019	22.3%	2021
	■エネルギー利用効率 (府内総生産あたりのエネルギー消費量)	40%以上改善	12.6%	2017	19.4%	2019
資源循環	■一般廃棄物 ^{注1}					
	排出量	276 万トン	308 万トン	2019	295 万トン	2020
	再生利用率	17.7%	13.0%	2019	13.4%	2020
	最終処分量	31 万トン	37 万トン	2019	35 万トン	2020
	1人1日当たり生活系ごみ排出量	400g/人・日	450g/人・日	2019	453g/人・日	2020
	■産業廃棄物 ^{注1}					
	排出量	1,368万トン	1,357万トン	2019	1,357万トン	2019
	再生利用率	33.2%	32.4%	2019	32.4%	2019
	最終処分量	33万トン	40万トン	2019	40万トン	2019
	■プラスチックごみ ^{注1}					
	プラスチックの焼却量	36万トン	48万トン	2019	－	－
	有効利用率	94%	88%	2019	－	－
	容器包装プラスチック(一般廃棄物のみ)の排出量	21 万トン	24万トン	2019	23万トン	2020
	再生利用率	50%	27%	2019	30%	2020
	■食品ロスの削減					
	食品ロス量	半減 (2000 年度比)	65.4万トン	2000	43.1万トン	2019
生物多様性	■生物多様性の府民認知度を70%以上にする。 ^{注2}	70%	16.9%	2008	13.5%	2021
	■生物多様性の損失を止める行動を拡大する。 ^{注2}					
	活動する府民の割合を倍増する。	倍増	6.0%	2014	2.6%	2021
	地域指定を新たに2,000ha拡大する。	2,000ha増 (83,970ha)	鳥獣保護区 12,801ha	2009	12,914ha	2021
			保安林 16,388ha	2009	17,509ha	2021
			府立自然公園 2,594ha	2009	3,541ha	2021
			国定公園 16,498ha	2009	16,498ha	2021
			近郊緑地保全区域 33,580ha	2009	33,580ha	2021
			自然環境保全地域 38ha	2009	38ha	2021
			緑地環境保全地域 32ha	2009	37ha	2021
			特別緑地保全地区 2ha	2009	18ha	2021
			自然海浜保全地区 22ha	2009	22ha	2021
			国・府指定天然記念物 15ha	2009	15ha	2021
			合計 81,970ha	2009	84,172ha (2,202増)	2021
健康安心	■大気環境					
	二酸化窒素(NO2)の生活環境保全目標達成 (NO2:1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下)	①0.06ppm未満の測定局 100% ②0.04ppm未満の測定局 100%	①100% (99局/99局) ②91.9% (91局/99局)	2020	①100% (96局/96局) ②96.9% (93局/96局)	2021
	微小粒子状物質(PM2.5)の生活環境保全目標達成(1年平均値15μg/㎡以下、かつ、1日平均値15μg/㎡以下)	達成率100%	96.4% (54局/56局)	2020	100% (57局/57局)	2021
	光化学オキシダントの生活環境保全目標達成(1時間値が0.06ppm以下、当面は0.12ppm未満)	0.12ppm以上の日数 0日	4日	2020	1日	2021
	■河川環境					
	BODの生活環境保全目標達成	達成率100%	96.3%	2020	95.1%	2021
	■大阪湾の環境					
	大阪湾に流入するプラスチックごみの量	2021年度より半減	(2021年度の数値について集計中)			
	海域における底層溶存酸素量の日間平均値の年間最低値2mg/L以上の地点数(注3)	－(注3)	7地点 (7/12)	2021	7地点 (7/12)	2021
	藻場面積95haを目指す。	藻場面積95ha (2031年度)	84ha	2021	84ha	2021
	■化学物質					
快適な地域づくり	環境リスクの高い化学物質の排出量を2019年より削減	2019年度より削減	4,030トン	2019	3,630トン	2020
	■府域面積に対する緑地の確保	約4割以上確保 ^{注1}	約4割	2009	－	－
	■緑化(市街化区域)	緑被率20% ^{注1} (現況の1.5 倍)	13.9	2009	13.8	2012
	■地球温暖化の影響を除外した熱帯夜日数	3割削減	37日	2000	31日	2019

注1 排出量や再生利用率などの各項目の目標値は2025年度
注2 「大阪21世紀の新環境総合計画」[2011年度～2020年度]に基づく参考値(目標値は2020年度)
注3 国における底層溶存酸素量に係る環境基準の類型指定・評価手法が決定次第、見直しを行う予定